



萩

秋の七草（萩、尾花、葛、撫子、女郎花、藤袴、桔梗）の一つに数えられており、初秋のころ紅紫色の可憐な花を野山いっばいに咲かせ、人の目を楽しませてくれます。

昔から秋を告げる花として親しまれておりますが、観賞用としてだけでなく、刈り取った茎で、垣根や屋根をふいたり、家畜の飼料に用いるなど、生活面でも深い係わりをもっていたようです。

秋の野の花は、どこか侘びしさが感じられますが、それはやがて訪れる冬の使者でもあるからでしょうか、人恋しさを誘う花です。

「萩の花咲きにけり高砂の

尾上の鹿は今や鳴くらむ」

藤原 敏 行